

練習通り踏切を合わせ、記録をしっかりと残した高橋。



MATSURO  
T&F通信



Vol.154  
R6.6.11

垣根を越えて陸上を楽しむ

えひめ県陸上競技

ミライ(未来)アスリート交流記録会

6月9日

ニンジニアスタジアム

男子100m

高橋 宇理弥(14秒34)

男子走幅跳

高橋 宇理弥(4m13) **ブルーシューズ**

女子ソフトボール投

浅木 玲音(34m40) **白ロケスト**

アンリミテッド4x100R

菅 今特(↓長野 今特)↓高橋↓浅木

(1分05秒09)

曇天  
貫く

浅木  
34.4M



大きなフォームで気持ちよく腕を振る浅木

年齢も、男女も、障がいのあるなしも関係なく、皆で陸上競技を楽しもう。そんなコンセプトの大会、ミライアスリート交流記録会が雨模様の中、ニンジニアスタジアムで開催された。

浅木は雨でボールが滑らないようタオルで拭きながら、高橋は体が冷えないよう着替えてに気を使いながら、自分がより良いパフォーマンスを発揮できるよう試技に臨み、雨天という悪条件にも関わらず、それぞれ自分の目標を上回る記録を出した。

会場で浅木は、みんな楽しそうに陸上をしていること、小学生も大人も笑顔でいることに気付いた。勝ち負けだけにこだわらず、ともに陸上競技を楽しめる、そんな大会だった。